環境情報誌

AOYAGI エコ

第 １８ 号

2016 年 1 月 14 日
青柳工業株式会社
環境会議

今年も環境活動よろしくお願いします

２０１６年が始まりました。当社の環境活動も１０年が過ぎ、何かを削減することから有意義な活動を継続して、社員や家族、地域の方々に、環境について理解が得られるよう努力する方向に変化して来ました。昨年からはじめた生物多様性活動では、水戸市の環境保全団体を支援して来ました。「そんなことが何になる」といったご意見もあります。私達の住む水戸及びその近郊は、全国的にもめずらしく、県庁所在地にも係わらず重要な湿地が点在しています。もし、ラムサール条約に登録されることがあれば、快挙と言って良いと思います。地域のことを、環境を通し、見つめ直していただきたいと思います。

２月２日シェイクアウト訓練実施します

今年も**シェイクアウト訓練を実施します。**午前１１時５分よりラジオ放送を聞き２分間、身の安全を確保してください。その後、緊急集合場所に移動し、点呼を含め全員の無事を確認します。こうした訓練は繰り返し実施することにより、いざという時に役に立ちます。昨年は、水戸市全域で１０万人を超える市民が参加しました。日本最大級の訓練に成長し「水戸一丸」が合言葉になっています。ご家庭でも、訓練の重要性を良く話しあい、とっさの時どこに身を置く事が、もっとも安全か考える習慣を身に付けてください。

今月の生物多様性情報　　「エコプロダクツ　２０１５」

昨年　１２月１１日 東京ビックサイトで行なわれた、エコプロダクツ２０１５の見学会を実施しました。「私が選ぶクールな未来」と題した会場には、６万人の入場者が各ブースをめぐり、環境の情報交換をしていました。私が注目した話題では、ここに来てゴルフ場の倒産が増え、その大半がそのまま放置されていることを知りました。木や草が伸び放題で、外来生物の増殖場所となっているようです。管理にはそれなりの手間と費用がかかるようで、コスト削減のため、煙の出ない焼却炉などが紹介されていて、興味深く見て来ました。環境問題も、その時々の世相を色濃く反映していると感じました。

社長コメント　～ 一歩踏み込んだ環境活動を ～

本社工場の本館１階を組立作業場に変更する際、照明をＬＥＤに交換した。若干だが、今後の電気使用量の変化に期待したい。生物多様性活動も一年を通し実行してきたが、残念ながら社員に浸透したとはいえない。啓蒙活動も併用しながら、地道な努力をお願いしたい。

今月の環境用語

「緊急事態への対応」

ＫＥＳ環境マネジメントの要求事項の一つで、地域の環境に重大な影響を及ぼす事態が発生したことを想定して、出来る範囲内で訓練を実施するよう指導されている。先の東日本大震災で経験した行動を、風化させないために、ここ数年「シェイクアウト訓練」を実施している。

今月の環境目標進捗状況

	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量の削減	27,841 kwh	23,306 kwh	達成	168,360kwh	153,428kwh	110%	↑
一般ごみの削減	65 袋	65袋	達成	5938袋	588袋	101%	↑
エコキャップを回収	849個	887個	達成	7,516個	8,894個	120%	↑
美化活動の実行	100%	100%	達成	100%	100%	100%	↑
生物多様性保護支援	10%	10%	達成	80%.	80%	100%	↑